

概要版

# 長岡市スポーツ推進計画



市民が自らスポーツを楽しみ  
健康で生きがいを感じるまちづくり

～スポーツの持つ大きな力をまちづくりに最大限に活かす～



平成 29 年 3 月

長岡市・長岡市教育委員会

# 5つの目標と施策体系

基本目標

推進項目

## 目標1

「育てる」スポーツの推進

- 1-1 乳幼児期の活発な身体活動の推進
- 1-2 学童・思春期のスポーツ活動の推進
- 1-3 スポーツに親しむ環境づくりの推進

## 目標2

「する」スポーツの推進

- 2-1 青年・成人期の「する」スポーツの普及
- 2-2 高齢期の「する」スポーツの普及
- 2-3 障害のある人の「する」スポーツの環境づくり

## 目標3

「競う(競技)」スポーツの推進

- 3-1 競技選手としての育成・強化
- 3-2 競技スポーツ推進体制の充実

## 目標4

「支える」スポーツの推進

- 4-1 スポーツ活動の基盤強化
- 4-2 スポーツに携わる人材の充実
- 4-3 スポーツ施設・環境の充実

## 目標5

「観る」スポーツと  
スポーツ観光の推進

- 5-1 トップレベルのスポーツにふれる機会の拡充
- 5-2 スポーツ観光(スポーツツーリズム)の推進
- 5-3 スポーツ情報の提供の充実

### ●計画の位置付け、計画期間

本計画は、スポーツ基本法第10条に基づき地方公共団体が策定する「地方スポーツ推進計画」にあたります。

計画期間は、平成29(2017)～38(2026)年度の10年間です。

# 「育てる」スポーツの推進

テーマ	家庭ぐるみ、学校ぐるみ、地域ぐるみでスポーツで子どもたちを育てる
重点施策	学校体育と地域スポーツ活動の連携

## 1-1 乳幼児期の活発な身体活動の推進

- 乳幼児期の心と身体の健やかな発達に運動遊びが果たす役割の重要性を広めるとともに、異年齢と遊ぶ機会や外遊びの機会が減少している時代背景を踏まえ、身近な場所で幼児同士や親子と一緒に身体を動かす機会の充実を図ります。
- 乳幼児期における発育発達に応じた適切な運動指導の普及を通じ、「スポーツに親しむ習慣の基礎」を形成します。

## 1-2 学童・思春期のスポーツ活動の推進

- 子どもたちが生涯にわたる運動・スポーツ習慣の基礎を築くとともに、スポーツを通じて生き抜く力と人格の形成を図るため、スポーツ幼年団とジュニアスポーツクラブの育成、スポーツの楽しさを広げる取り組みの充実を図ります。
- 児童生徒が興味・関心に応じてスポーツ活動を継続できる環境を、家庭ぐるみ、学校ぐるみ、地域ぐるみで形成し、スポーツをする子、しない子の「二極化」の解消に取り組みます。

## 1-3 スポーツに親しむ環境づくりの推進

- 家庭・学校・地域が連携して、子どもたちがそれぞれの興味・関心・志向に応じて、スポーツに親しみ、継続して活動ができる環境づくりを進めます。

### ●成果指標

(根拠データ:担当課調べ)

項目	H27 (2015) (基準値)	H33 (2021) (中間目標)	H38 (2026) (目標)
運動やスポーツ(学校体育授業を除く)の1週間の実施時間が60分未満の児童生徒の割合	小5男子 5.3% 小5女子 12.3% 中2男子 5.9% 中2女子 23.4%	小5男子 5.0% 小5女子 8.6% 中2男子 5.0% 中2女子 14.2%	小5男子 5.0%未満 小5女子 5.0%未満 中2男子 5.0%未満 中2女子 5.0%未満

# 「する」スポーツの推進

テーマ	市民がスポーツを通じて豊かな人生を実現する
重点施策	興味・関心に応じたスポーツ参加機会の充実

## 2-1 青年・成人期の「する」スポーツの普及

- 市民が、スポーツに参加する動機付けとして、ライフスタイル、志向、目的に適したスポーツ・レクリエーションをする機会の充実を図ります。
- 日常生活の中で目的意識を持って身体を動かす習慣化を促進し、「多忙感」や「二極化」の解消を図ります。

## 2-2 高齢期の「する」スポーツの普及

- 将来的な高齢者人口の増加を踏まえ、健康寿命の延伸と高齢期を健康で生き生きと暮らすために、一人ひとりが加齢に伴う身体機能や生活機能の低下を予防する取り組みの重要性を理解し、自立した生活が営めるよう継続的な運動をする機会を提供します。
- 高齢者のスポーツを通じた健康の維持や仲間づくりの機会の充実を図ります。

## 2-3 障害のある人の「する」スポーツの環境づくり

- 障害のある人の社会参加や生活の質（QOL）の向上を目指し、それぞれの状況に応じてスポーツを楽しむことのできるよう、スポーツ・レクリエーション活動の促進、使いやすい施設の拡充、障害者スポーツ推進体制の強化を図ります。
- 関係機関と連携を図りながら、障害のある人のスポーツを通じた社会参加を図ります。

### ●成果指標

（根拠データ：担当課調べ）

項目	H27 (2015) (基準値)	H33 (2021) (中間目標)	H38 (2026) (目標)
週1回以上、運動やスポーツを行う市民の割合（18歳以上）	43.7%	55.0%	65.0%



# 「競う(競技)」スポーツの推進

テーマ	地元選手が世界や全国で活躍し、市民に夢と感動を与える
重点施策	ジュニア選手の育成・強化の推進 継続したトップ選手の育成・強化の推進

## 3-1 競技選手としての育成・強化

- 市民がスポーツを通じて夢や感動を共感し、郷土に誇りを抱くことを目指し、2020 東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする、世界レベル、全国レベルの選手の継続的な輩出に向けて、ジュニア選手の発掘及び一貫した育成・強化を重点的に推進します。
- 障害のある人自身の目標を実現できるよう、競技としての障害者スポーツ選手の育成・強化を図ります。

## 3-2 競技スポーツ推進体制の充実

- 競技スポーツ選手の育成・強化とともに、安定したパフォーマンスと継続した選手活動を支えるため、トレーニングやメンタル面等のサポート体制の強化を図ります。

### ●成果指標

(根拠データ:担当課調べ)

項目	H27 (2015) (基準値)	H33 (2021) (中間目標)	H38 (2026) (目標)
全国大会、世界大会の出場選手数 (延べ人数)	788 人	876 人	950 人





# 「支える」スポーツの推進

テーマ	市民が身近な場所でスポーツを楽しみ、 スポーツを支える
重点施策	コミュニティスポーツ推進組織の活動支援

## 4-1 スポーツ活動の基盤強化

- 地域住民が自主的・主体的に運営に参画するコミュニティスポーツ推進組織の活動を支援して、市民が生涯にわたり、身近な場所でスポーツ・レクリエーション活動を行うことのできる基盤の強化を図ります。
- 市民主体のスポーツ・レクリエーション活動の拡大を図るため、スポーツ協会やレクリエーション協会等の活動を支援します。

## 4-2 スポーツに携わる人材の充実

- スポーツ推進委員・普及員を委嘱し、市民が身近な場所で安全に継続的にスポーツを楽しむ環境づくりに取り組みます。
- 遊びを通じたスポーツ体験から本格的なスポーツ活動まで、多様な市民ニーズに対応できる専門知識を備えたスポーツ指導者を養成します。
- 新たなスポーツへの関わり方として、スポーツボランティアの育成に取り組みます。

## 4-3 スポーツ施設・環境の充実

- 市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の快適な利用環境の向上を推進するとともに、適正配置に向けた施設の統廃合を視野に入れながら、「長岡市スポーツ施設整備基本構想」に沿った計画的な整備・改修を進めます。

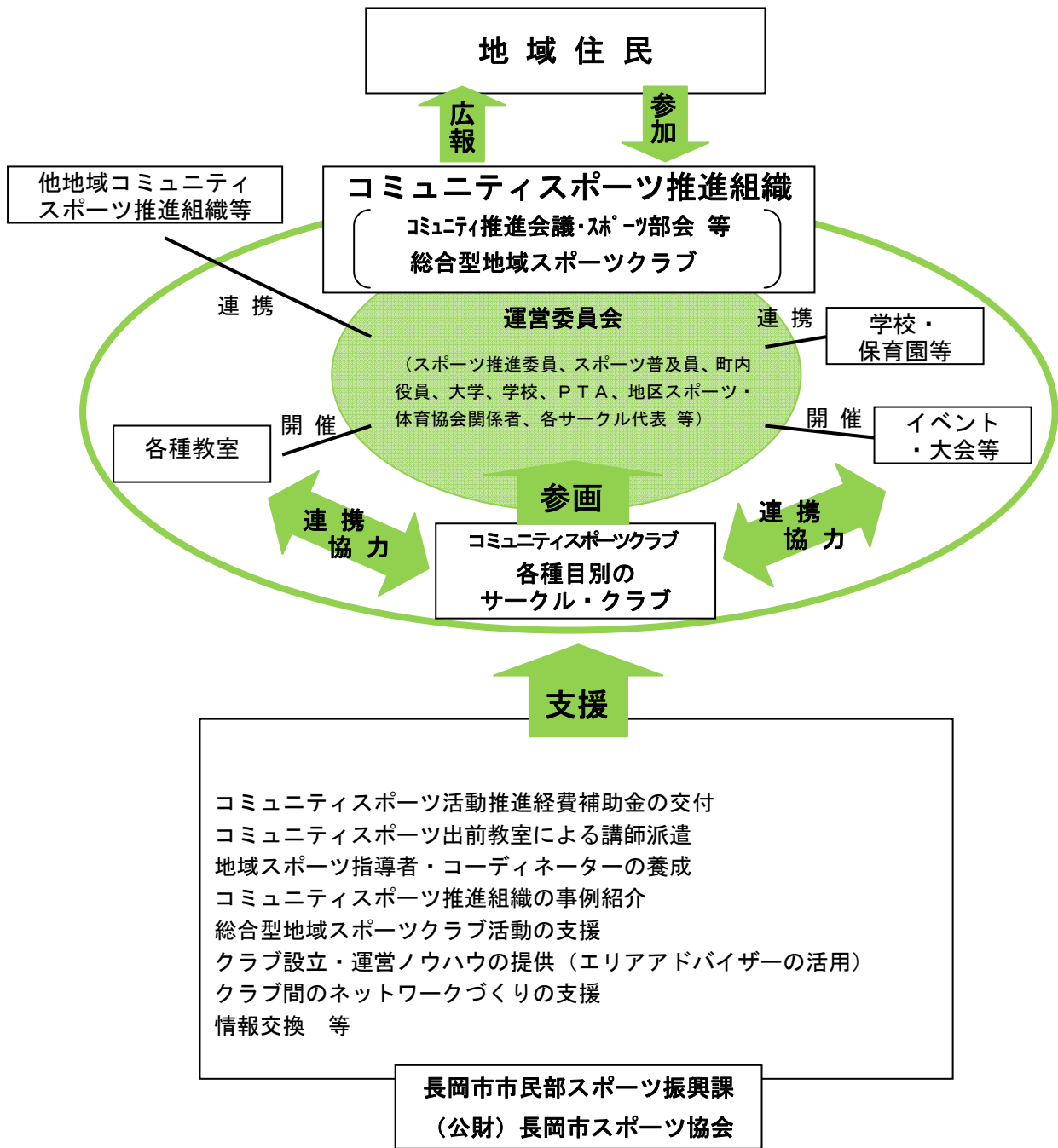
### ●成果指標

(根拠データ:担当課調べ)

項目	H27 (2015) (基準値)	H33 (2021) (中間目標)	H38 (2026) (目標)
日体協公認スポーツリーダー資格取得者1人あたりの人口	1人あたり550人 (資格者503人)	1人あたり500人 (資格者550人)	1人あたり460人 (資格者600人)



●地域住民が自主的・主体的に推進する体制(地域のスポーツ活動基盤)●



- ※ コミュニティスポーツ推進組織とは、コミュニティを拠点として活動する各種目別のスポーツクラブ・サークル（コミュニティスポーツクラブ）をはじめ、スポーツ関係団体や関係者等の地域住民が主体的に参画して、コミュニティスポーツを推進する組織をいいます。定期的な種目別活動に加えて各種教室やイベントの開催を行います。
- ※ 現在、コミュニティスポーツ推進組織が未設置の地域については、総合型地域スポーツクラブがその役割を担います。
- ※ コミュニティスポーツ推進組織と総合型地域スポーツクラブの両方が設立されている地域については、双方が連携して、地域スポーツの推進にあたります。

# 「観る」スポーツとスポーツ観光の推進

テーマ	市民がスポーツの多様な楽しみ方にふれる
重点施策	大規模大会の開催やプロスポーツの観戦機会の拡大 2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた 事前合宿の誘致と、スポーツを通じた国際交流

## 5-1 トップレベルのスポーツにふれる機会の拡充

- 大規模大会の開催やプロスポーツの観戦機会の拡大、プロスポーツチームとの連携により、「観る」スポーツの振興を図ります。
- 2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた事前合宿の誘致と、このことをきっかけとした市全体のスポーツ機運の醸成を図るとともに、諸外国とスポーツを通じた国際交流を推進します。

## 5-2 スポーツ観光(スポーツツーリズム)の推進

- 各地域の多彩な自然環境やスポーツ資源を活かし、スポーツを通じた交流人口の増加を図るとともに、スポーツの持つ力を最大限に活かし、まちの活性化を図ります。

## 5-3 スポーツ情報の提供の充実

- 市民が、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツをはじめめる動機や仲間づくりのきっかけとなるよう、スポーツに関する豊富な情報を多様な手段で提供します。
- 本市のスポーツに関する取り組みを国内外に向けて広くPRします。

### ●成果指標

(根拠データ:市民アンケート結果)

項目	H27 (2015) (基準値)	H33 (2021) (中間目標)	H38 (2026) (目標)
スポーツに関わりたいと回答する市民の割合 (18歳以上)	73.3%	78.0%	82.7%

